

デザイン総合実習Ⅱ

Design Synthesis Practice II

04

張 浦華（准教授）

三谷 篤史（講師）

小宮 加容子（講師）

柿山 浩一郎（講師）

長谷川 聡（助教）

デザイン学部 製品デザインコース

プレゼンテーション

- ◎学生より【E】提案する製品（サービス）のコンセプト
の披露（一人、5分程度）
- + 教員からの講評

タイムキープを行います。3分で一鈴、4分で二鈴をならします。

情報の入出力に関して

事例紹介

「胸郭運動に表出する人間の心理」

出題

確定したコンセプトを実現する為の具体的な提案を行なうにあたり、
着目する生体情報認識技術を踏まえ、

- どのような生体情報を
- どのような生体情報認識により取得し【情報の入力】
- 入力された情報をどのように解釈し【アルゴリズム】
- どのような情報をユーザに提供するのか【情報の出力】

に関して

ハードウェア、ソフトウェア、ユーザに求める行為、ユーザの使用環境
の4つの視点を考慮してまとめなさい。

▼次回までの課題▼

- 【F】情報の入出力(システム)

情報の入出力は、製品(サービス)提案における実現性の証明となる重要な部分。また同時に、ユーザと製品(サービス)とのインタラクションそのものとなる。

以上を考慮して、情報の入出力に関するまとめを行ないなさい。

上記「情報の入出力」を、一人5分程度で解説してもらいます。